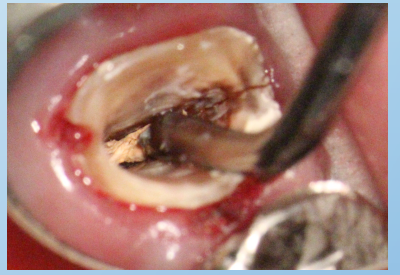
ダイレクトボンディング

二次カリエスのリスク（銀歯）

歯の一生

抜歯
↓

→歯を失うリスクが急増



健康な歯 → 小さいむし歯 → 小さい詰め物 → 大きな詰め物 → 神経を抜く、被せもの → 歯根のむし歯、歯が割れる

ダイレクトボンディングとは？

- 患者様の中お口の中で直接、歯科用の高性能プラスチック（コンポジットレジン）を直接歯に盛り足して、歯の形態や色調を回復させる治療法です
- 様々な堅さのコンポジットレジンを駆使して、歯の形態を作っていきます

メリット

- 歯をほとんど削ることがない
- 歯と隙間なく補綴する事が可能
- 歯と近い堅さのため、周辺の歯を欠けさせることがない
- もし欠けたり割れたりしても、歯を傷つける事なく修復可能
- 治療が一回で終わる
- 同様のセラミック治療と比べると安価（約半額）

歯をほとんど削らない？

- 金属部分のみを除去し余剰なセメントや虫歯になっている箇所を削るのみ。
- 虫歯の大きな箇所を補綴する際も同様、健康な歯には手を出さず、虫歯だった所にコンポジットレジンを盛り足していき、歯牙の形態を作っていきます。

保険と自費の違い（保険）

銀歯が咬む面のみ

保険と自費の違い（自費）

隣の歯との間を含む銀歯

歯と隙間なく補綴できる

・特別な器具を使い、歯に直接接着するので隙間が出来にくい

・隙間がないので二次的な虫歯になりにくい

銀歯からダイレクトボンディングへ

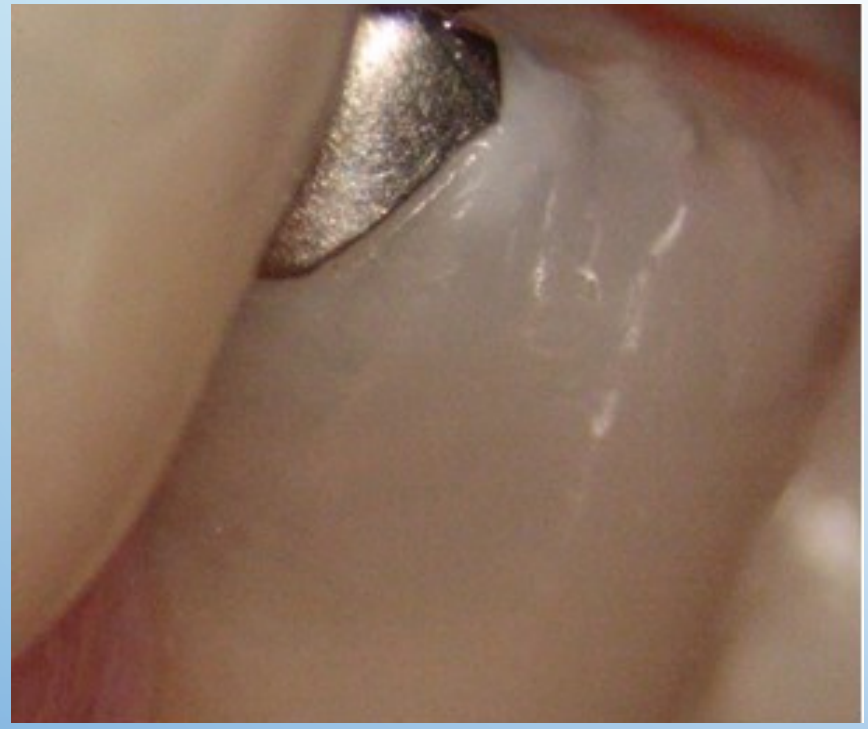
before

after

before

after

銀歯からダイレクトボンディングへ



before

after

前歯部ダイレクトボンディング

デメリット

- 将来的には変色する可能性がある
- かみ合わせが強い所では欠ける可能性がある（欠けた所のみリペア可能）
- 保険がきかない

適応症例

- 前歯の隙間（歯と歯の間の隙間が気になる方に）
- 歯の先が欠けてしまった
- 過去に入れた銀歯がとれた、歯と銀歯の間に隙間があいている
- 歯を抜歯したが、入れ歯を入れたくない
- 歯と歯の間が変色した、虫歯になってしまった

費用は？

- ３万～５万（大きさや部位によって異なります
  詳しくはスタッフにお尋ねください）
- ２年間の無料保証期間があります

原因をしっかり追求しないと時間も費用も無駄になってしまいます